

第29回 APEC サミット開催記念展 『鳥羽美花—ベトナム・マイクロコスモスの世界』

会 期 : 2017年10月20日(金)～11月12日(日)
会 場 : チャム彫刻博物館 (8,2Thang 9Street, Da Nang)
出品作品 : ベトナム中部(ミーソン遺跡、ダナン、フエの風景)を中心に
1994年から現在までの移りゆくベトナムの光景を描いた作品約15点
主 催 : チャム彫刻博物館、鳥羽美花プロジェクト実行委員会
後 援 : ダナン市人民委員会外務局、在ベトナム日本国大使館
協賛連絡先
鳥羽美花プロジェクト実行委員会 : 若山和幸 (wakayama29@gmail.com)

開催主旨

第29回 APEC 首脳会議がベトナム第三の都市ダナンで開催されることを記念し、ダナン市のチャム彫刻博物館において、ベトナムの歴史文化と日本の伝統技法である型染めを融合した企画展を開催する。

本展は、ベトナム及び日本の芸術文化をアジア全域へ発信し総合的文化交流、ダナン地域の発展に貢献することを目的とし、ベトナムと日本が、ダナンの地にて広く国際文化交流の要、中継的役割を担うことを期待する。

チャム彫刻博物館は、世界遺産の中でもヒンドゥー教が色濃く残るチャム族の「ミーソン遺跡」の遺産を多数所蔵し、ミーソンをベトナム国内外に紹介している。鳥羽美花は、日本古来千年の技法、型染で、1994年以来20余年間にわたりミーソン遺跡およびダナン周辺地域をはじめとするベトナム各地の変貌を追い続け風景に残すことで、節目ごとに両国の文化が交差する展覧会を開催してきた。

本展は、壮大な宇宙全体に対する小さな完結した世界、世界全体と比較しての一定地域や個人のささやかな営み、という意味での“マイクロコスモス”をテーマとし、本展から大きな世界・アジア全土への広がり、振興を目指す。

第29回 APEC サミット開催記念展 : 鳥羽美花 - ベトナム・マイクロコスモスの世界について

「APEC VIETNAM 2017-ダナン投資促進セミナー」は、持続的発展を支える投資促進を図るためには、モノ、カネ、技術のみならず、ヒト、文化及び地域社会の有機的な結びつきが必要であるとの考え方で開催されます。鳥羽美花先生の本記念展は、ベトナムの歴史・文化・芸術と日本の文化・伝統芸術を融合し新たなコスモス(宇宙)を創造し、新たな発展(展開)への道筋を開いていくものと考え、弊フォーラムは本記念展の開催にご協力いたしております。

記念展は、現在、ご賛同いただける企業・団体に幅広く「協賛」をお願いいたしております。ご協力いただける皆様におかれましては、プロジェクト実行委員会又は弊フォーラムにご連絡をお願い申し上げます。また、開催期間中、ダナンを訪問される際には是非とも記念展をお訪ね下さい。

2017年9月14日

一般社団法人 日本ベトナム経済フォーラム

鳥羽美花プロフィール：染色画家

日本独自の染色技法である「型染め」を駆使し、新たな染色絵画の世界を切り開いた。

1994年に初めてベトナムを訪問して以来、経済発展と共に失われてゆくベトナムの光景を描いた一連の大作を制作し、ベトナム政府より「文化功労賞」を授与される。

国内では「都市文化奨励賞」「京都市芸術新人賞」など19の賞を受賞した他、これまでの文化活動が日越友好関係増進に寄与したとして外務大臣表彰を受賞。



京都市立芸術大学大学院修了。

日越文化交流を中心とした主な展覧会

2001年 ベトナムの風景を描いた作品を一堂に集め、ハノイで個展を開催。

2003年 日越外交関係30周年記念「鳥羽美花作品展」（ベトナム国立美術博物館、ホーチミン市美術館）

2005年 「古都に奏でる悠久の心—フエ」展（世界遺産フエの王宮「大和殿」）

2010年 平城遷都1300年・ハノイ建都1000年記念「型染めで紡ぐ悠久の都—奈良・ハノイ」展（薬師寺、ハノイ文廟、ベトナム国立美術博物館）

2013年 日越外交関係40周年記念「残された風景」展（ホーチミン市美術館）

2014年 建仁寺栄西禅師800年大遠諱記念事業展（小書院襖絵16面「凧」「舟出」を奉納）。

今後、さらに大書院36面の襖絵を制作予定。

2017年 第29回APECサミット開催記念鳥羽美花展（ダナン市チャム彫刻博物館）（10/20-11/12）

鳥羽美花オフィシャルサイト：<http://www.toba-mika.net/>

（参考）

ミーソン遺跡



鳥羽作品：ミーソン遺跡



ミーソン熱2001年



辿りついた場所 2013年